

平成 20 年度 第5回
産業界から見た土木高等教育のあり方に関する検討小委員会
議事録

日 時：平成 20 年 11 月 25 日（火）15：00～17：00

場 所：土木学会 D 会議室

出席者（敬称略）

：村田、吉川、井上、上野、河野、尾高、室井、関根、正本

（欠席：東、池田、吉原、オブザーバー：田中、木村）

- 議 題
1. 議事録の確認
 2. キャリアパス（総合建設業、建設コンサルタント、行政）
 3. 既往教育資料の整理
 4. その他

配布資料 資料－5-1：前回議事録（H20 第4回）

資料－5-2：キャリアパス（階層別役割）

- ・ゼネコン業界、建設コンサルタント業界、自治体（東京都）

資料－5-3：キャリアパス資料

- ・建設産業界のキャリアパス（2008.11.25）
- ・図 1.1.9 社会資本の整備プロセス

資料－5-4：親員会への対応

- ・4.その他
- ・2009年1月号からの土木学会誌「情報（会告）」の変更について
- ・H20年度 J S C E 2010 自己評価（中間）評価票
- ・様式 1：事業計画・予算調書（教育計画）
- ・様式 3-1：行事計画書（ED教育小委員会）
- ・様式 3-1：行事計画書（高等専門教育小委員会）
- ・様式 3-1：行事計画書（生涯学習小委員会）
- ・様式 3-1：行事計画書（高校教育小委員会）
- ・様式 3-1：行事計画書（成熟シビルエンジニアリング活性化小委員会）

議事概要

1. 前回議事録の確認

- ・資料 5-1 に基づき、前回議事録内容を村田委員長が説明。
- ・河野委員よりの修正箇所が修正されていることを確認

2. キャリアパス吉川委員より、ゼネコン業界、建設コンサルタント業界、自治体の各表

について、説明があった。

- ・行政については国交省もあり、国家公務員(甲)を用意する。
- ・各委員で再度検討していただき、修正等があれば吉川委員に報告する。
- ・「教育界に求める教育」で退職後のキャリア活用を教育界に求めているが、◆社会と教育界のコラボレーション「・キャリアを提供する」に変更する。
- ・「教育界に求める教育」の内容は成長期、発展期の記述方法を統一する。
- ・「教育界とは」の定義を「土木教育界」と変更する。
- ・基礎形成期については入社前、入社時に分類ずる。
- ・キャリアパスを作成し、人材育成委員会に提出した後、教育界の委員およびその学生に確認する。
- ・内定者、新社員にアンケート調査を実施し、語句、内容等の理解と不明点を洗い出し修正する。

3. 既往教育資料の整理

村田委員長より、「建設産業界のキャリアパス」について説明があった。

- ・卒業後の進路率については、委員会が把握しているので確認する。また、図・社会資本の整備プロセスを役割分担に入れる。
- ・キャリアパスとして評価される業界を主とする3業種を特化させる。

4. その他

村田委員長より、親委員会への対応として、学会からの連絡事項の説明があった。

- ・連絡1：「2009年1月号からの土木学会誌「情報（会告）」の変更について」より変更点について説明
- ・連絡2：教育企画・人材育成委員会（H20年第2回）開催について、1月26日の人材育成委員会で当委員会より10分程度の発表する
- ・連絡3：社会コミュニケーション委員会特別上映会のお知らせについて
- ・連絡4：2009年度行事計画申請案、2008年度活動自己評価案について、「JSC E 2010の実施状況に関する部門評価ごとの自己評価」、様式1および様式3-1について、当委員会に~~関~~関する部分は⑤「産業界からみた学校教育への要望事項」を「建設業界から見た学校教育ですべき科目の検討」に修正されたことを確認する
- ・連絡5：技術倫理協議会公開シンポジウムの案内について

（次回小委員会の開催）

- ・平成20年12月24日（水） 15：00より土木学会

以上